




知るほどに魅力的、研究と追求で
改めてコースの面白さ・魅力にふれる！

大学院 総合人間自然科学研究科
理学専攻 理学コース 生物科学分野
修士課程2年

河野 成志
Noriyuki Kawano

生年月日／1991年4月生まれ
血液型／A型
星 座／おひつじ座
出身高校／高知県立 高知小津高等学校
趣味・ハマっているもの／自転車
クラブ・サークル／chopper (高知大学軟式テニス同好会)

高校で、スーパーサイエンスハイスクールという理学に特化したカリキュラムがあり、そこで自分のやりたい生物分野に絞って探したところ、高知大の理学部にいきあたったんです。

このコースは植物、動物、物理数学の3つの分野に分かれていて、たとえば、動物の分野だと高知大では魚類が特に有名です。地元高知の環境を研究、追求することの楽しみは尽きません。

朝5時に起床し、身支度を整えて6時半に大学に到着。いきなり実験に取りかかるのです。どうです！やる気満々でしょう(笑)。内容は原生動物。その生物は周りの環境が悪化するとシスト壁と呼ばれるバリアを張り、その環境に適応してくるとバリアが

取れる仕組みです。実験に夢中になっているとあっという間に午後9時。そんなスケジュールの毎日です。

卒後は研究職か実験器具などの開発分野にと考えていますが、趣味が自転車ということもあってそちらに進むかも…(笑)。

大学は、自己管理能力が問われる場所。このコースで、随分成長させてもらった自分を実感しています。生物という名のつくコースではありますが、生物に詳しくなくても全然大丈夫、知るほどに興味を沸いてくる分野です！

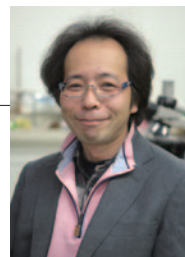
この大学、このコースで、あなたもハッキリと未来が見えてくることでしょう。後輩よ来れ！



生物科学コース

Biology

コース長
松井 透
Tohru Matsui



生物の分類や系統進化、生態、細胞の形づくり、動物の行動などについてのさまざまな謎に迫るユニークな研究活動を行う

生物科学コースでは、生物が「どのように生きているのか」「どのように進化してきたのか」「環境からどのような影響を受け、またどのような影響を与えているのか」など、生物の分類や系統進化、生態、細胞の形づくり、動物の行動などについてのさまざまな謎に迫るユニークな研究活動を行っています。

本コースでは最新の機器を使った実験と野外実習に重点を置いた総合的な教育を目指し、学生と教員が研究の喜びを共有する人間的なふれあいを大切にしています。



地球科学コース

Earth Science

コース長
岩井 雅夫
Masao Iwai



地球の生成・発展のダイナミックな過程を長い時間スケールで理解し、進化、環境、資源、海洋について考える

地球科学コースでは、岩石、鉱物、化石、堆積物などを対象として、地球の進化、海洋環境の変動、鉱物資源の生成などを長い時間スケールで理解することを目的とした教育・研究を展開しています。地球相手の研究では、現地の自然を体験することが重要ですから、国内はもとより、国外の地質(南極など)、海底物質も対象としています。また、高知大学海洋コア総合研究センターとの協力により、地球規模変動、海底資源の基礎研究も推進しています。当コースでは、自然が好きで、野外での観察・観測・調査に興味があり、卒業後、地球環境、海洋関連などの分野で活躍したい人を求めています。



静かな学習環境の中、地学の
世界の果てしない魅力にふれて！

理学科 地球科学コース
(2014年度卒業)

内池 友
Yu Uchiike

生年月日／1992年8月生まれ
血液型／A型
星 座／おとめ座
出身高校／京都私立 京都文教高等学校
趣味・ハマっているもの／読書
特 技／節約
クラブ・サークル／アカベラ同好会On-Air
好きな作家・アーティストなど／山田悠介、DEEN、FIELD OF VIEW
ニックネーム・通称／うっちー

京都からここに来た理由といえば、まず本州、近畿から外に出なかったということ。そして太平洋の近くで食べ物のウマイ場所に絞ると、僕にとって高知はまたとない理想の田舎でした(笑)。

小学生の頃から化石に興味津津で、高校では地学がなかったため独学で勉強しました。地球科学コースには他コースにない“巡検”があります。場所を特定しそこに出向き、そこにある化石の傾きや並びについて何故そうだったかの理由を捜するというものです。大抵は先生一人に学生数人がグループを組んで行きますが、他のコースから来る人も大歓迎ですよ。ネットや新聞で見たものは情報としてインプットしますが、現地では、それ

らに書かれてないことまでどんどん頭に入ってきますし、驚きも感動もハンパじゃないのです。

このコースは、地学の経験がなくても何の問題ありません。大学生から地学を始めるのはカンタンではありませんが、一旦足を踏み入れると、その魅力にどんどんハマってくることでしょう。さらに、世界に3つしかないコアセンターの1つが日本の高知にあるのです。なんと贅沢だと思いませんか。おまけにこのコースは少人数のためまとまりやすく、意見交換もしやすいのです。

ゆくゆくは高校の地学の教師になり、第二の故郷、高知に帰ってくることも考えています！

